

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	国県道対策関連道路改良事業(資材支給)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	建設部	課等名	国県関連事業課		1	8	2	3	13	1	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市道の利用者	居住者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			108000	108000		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
安全に市道を利用できる	資材支給をした箇所数	18目標	最終目標			
		18実績	10	19目標	10	↑
		23目標	10	23実績		最終目標達成年度
		18目標	最終目標			
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	資材支給による市道の補修 <参考> 細々目名:国県道対策関連道路改良事業費	地元へ資材支給(生コンクリート)をし、市道整備を実施	支給箇所数	10
		18年度の実績		
		19年度計画		
		地元へ資材支給(生コンクリート)をし、市道整備を実施	支給箇所数	10

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	0
	一般財源	960	960
事業費計(A)	960	960	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	960	960

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>三遠南信自動車整備事業及び県事業に起因する市道取付について、地元へ資材支給(生コンクリート等)し、利便性の向上を図るため開始。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>本来飯田市が施工しなければならない箇所を、地元へ資材支給し実施していただくことにより、市道の整備が推進されている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p>
---	--	-----------------------

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 道路整備の促進に結びつく。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由) 現状が得策である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 地元へお願いすることにより、コスト縮減となるため、必要ない。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 飯田市で施工することになり、市道整備が遅れる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 地元へお願いすることにより、コスト縮減となるため、必要ない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 土木課維持係で資材支給を実施している。国道道に関連する市道であるため、統合は不可能である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由) 市の管理する道路であり、整備の必要がある。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由) 資材支給することで、事業費や人件費が削減されているため、これ以上は不可能である。
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 市の管理する道路整備であり、市民に負担を求めることはありえない。

**【Plan】改革改善**

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>緊急度の高い箇所から資材支給を実施し、市道整備を行っていただく。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	